

2015年(平成27年)7月18日 土曜日

日米の友好確かめ植樹

八面山の戦闘、著書にまとめたバーグさん

初訪問「胸がいつぱいに」



元米空軍整備士マイク・バーグさん(フレート左側)が中津ロータリークラブの会員らと植樹

中津市三光の八面山で1945年5月7日、米軍のB29爆撃機が日本の戦闘機に撃墜され、日米合わせて12人の乗員が命を落とした。この悲劇の戦闘を約20年にわたって調査し、著書にまとめた元米空軍整備士のマイク・バーグさん(76)「ウィスコンシン州」が17日、現地を訪れて中津ロータリークラブの会員らと「鎮魂の記念植樹」をした。

バーグさんは友人の兄がこの戦闘で命を落としたことを知り、興味を持った。2005年に八面山を訪れた戦死者の子孫から話を聞いたり、戦死者の慰霊を続ける同クラブ関係者から資料を送ってもらい、著書「B29の乗員たちと日本の静かなる山」を自费出版した。

今回、戦後70年の節目に合わせ、自身も高齢になったため「最

後のチャンス」として初めて現地を訪れた。

八面山平和公園であった記念植樹には調査に訪れたことがある長女スーザン・バーグ・ウィリアムズさん(44)夫婦も同行。地元から10人が参加した。資料提供に協力した川島真人さん(川島整形外科病院理事長)が戦闘や公園内の記念碑について解説し、バーグさんが公園を管理する楠木正一さん(64)に著書を贈呈。全員で桜の若木を植えた。

同クラブの富部直会長は「あらためて平和の大切さを痛感した」、バーグさんは「胸がいつぱいになった。戦死した両国兵士の魂と一緒に慰めることができ、また両国の友好を確かめ合うことができうれしく思う」と話した。

バーグさんらはこの後、八面山のB29墜落地点や宇佐市平和資料館も訪れた。(三浦誠二)

戦後
70年